



イチゴ生産者による販売会



販売したイチゴの食べ比べパック

イチゴ新品種PR JA苺専門部宇都宮支部青年部



JA 莓専門部宇都宮支部青年部
は3月11日、宇都宮駅ビル・
パセオ「えきの市場」内JA農産
物直売所で、イチゴの試食販売を
実施。同青年部の生産者ら6人が
店頭に立ち、管内産イチゴをPR
しました。

試食販売は同青年部初めての取り組みで、イチゴの新品種の知名度向上や消費拡大につなげることが目的。今回は県内独自品種の「とちあいか」「スカイベリー」「ミルキーベリー」の食べ比べパックの販売と、「とちあいか」「ミルキーベリー」の試食販売を行いました。イチゴを試食した買い物客は「初めて食べた品種だが、甘くておいしかった」と話し、生産者から品種ごとの特徴やおいしいイチゴの見分け方などを聞き、商品を手に取っていました。

同青年部の鈴木啓介部長は、「どちらいかなど新しい品種について知つてもうと同時に、販売もつながれば」と話しました。

ほ場でユリ栽培講習会 JA球根切花専門部

定植作業を行う部員ら



JA 球根切花専門部は2月21日、宇都宮市駒生町のリリーランド・アマガイのほ場でユリ栽培講習会を実施し、同部員やJAの担当者ら7人が参加しました。

同栽培講習会では、球根会社からの依頼で7年前からユリの栽培試験を実施しています。品種や球根の生産地が異なるユリを栽培し、実際のほ場でどのように生育するか観察を行います。JAの担当者は「生育状況を確認しながら適地適作の品種をいち早く選定できるため、生産者に大きなメリットがある」と話しました。

新規就農への意欲を高める

第18回新規就農者等体験実習会

宇 都宮市農業公社は2月25日と26日の2日間「第18回新規就農者等体験実習会inうつのみや」を開き、市内で就農を希望する16人が参加しました。

1日目は、関係機関の担当者が栃木県や同市の農業の概要について説明。参加者は地域の状況や各種支援制度を学びました。先輩農家の見学では、2ほ場を訪問。設備導入から出荷までの経緯や就農までのポイントについて説明を受け、体験談も聞きました。2日目の農作業体験実習では、2ほ場で実際に農作業を体験。参加者は先進農家の指導を受けながら、施設の管理作業や農産物の選別作業を行いました。



先進農家から説明を受ける参加者

出荷最盛期に向け目ぞろえ会

JAグリーンアスパラガス専門部

目ぞろえを行なう部員ら



JA グリーンアスパラガス専門部は2月27日、宇都宮市砂田町の南部農業センターで出荷目ぞろえ会を開き、部員や関係機関の担当者ら32人が参加しました。

目ぞろえ会では全農とちぎの担当者が23年産の販売情勢について報告。12、1月の寒気の影響で出荷数量が少なく、高単価で推移していると伝えました。また、県の担当者が5月以降に発生が増えるアザミウマ類について説明し、雑草の適切な管理や擬葉の整理など予防・防除を徹底するよう呼び掛けました。目ぞろえ会では、現物を使って出荷規格を確認しました。



目ぞろえを行なう部員ら

的確な品質管理呼び掛け

JA苺専門部上河内支部中間販売検討会・目ぞろえ会

JA 苺専門部上河内支部は2月28日、宇都宮市下小倉町の上河内野菜集荷所で中間販売検討会・目ぞろえ会を開き、部員や関係機関の担当者ら30人が参加しました。

目ぞろえ会では最初に全農とちぎの担当者が23年産中間販売実績を報告し「とちおとめ」から「とちあいか」に品種が変遷する過渡期にあり、順調に転作が進んでいることを説明しました。目ぞろえ会ではカラーチャートを使って着色状態を確認。未熟果や過熟果の混入防止や、満杯詰めを基本としたボリュームのある魅力的な商品作りを申し合わせました。

宮農相談員が活動実績を発表 営農相談員活動審査会



JAは3月10日、宇都宮市戸祭元町の本所で営農相談員活動審査会を開き、JAの役職員や関係機関の職員31人が参加しました。今回は各営農経済センターに所属する8人の営農相談員が実績を発表。審査の結果、北部営農経済センターの永嶋純也さんの発表が最優秀賞に選ばれました。

永嶋さんは「営農相談員としてやりたいことはたくさんあるが、一人ではできないことを実感している。営農相談員全員で情報を共有し、協力してスキルアップしていければ」と意気込みを語りました。



安定経営の実現に向けて JA養豚専門部会通常総会

JAは3月17日、宇都宮市戸祭元町の本所で第35回養豚専門部会通常総会を開き、同部会員や関係機関の担当者17人が出席しました。22年度事業報告では、県内で国内最大規模の豚熱が発生したことを受け、防疫の面で徹底した管理や対策が求められたことなどを説明。23年度事業計画では、飼料価格高騰など厳しい状況が続く中、経営基盤の確立に向け活動することを申し合わせました。また、昨年12月から新たに部会長に就任した上野豊之さんは「畜産業界にとって大変厳しい状況が続く。皆さまの知恵を借りながら、部会として発展していくたい」と話しました。



あいさつする上野豊之部会長

事業計画達成に向け決意表明 事業計画必達進発式



JAは3月20日、宇都宮市戸祭元町の本所で令和5年度事業計画必達進発式を開き、常勤役員や職員ら48人が出席しました。

JAの横松久夫組合長は「労働生産性を向上させなければ、長期的な経営は成り立たない。皆さんには業務の改善を着実に実行してほしい」と呼び掛けました。進発式では常勤理事が方針を表明。組合員・利用者の期待に応え、JAの経営基盤を強化するための具体的方針を確認しました。また、職員を代表して上三川営農経済センターの高木正利センター長が決意表明。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて、役職員一丸となってまい進することを宣言しました。



産地として発展目指し定期総会 JA梨専門部

JA梨専門部は3月22日、宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで22年度定期総会を開き、部員や関係機関の担当者ら50人が参加しました。

22年度事業報告では、異常気象により受粉環境が劣悪だったが、専門部全体で徹底した人工授粉に取り組むことで平年並みの着果量を確保できたと説明。23年度事業計画では、安全・安心への取り組みを一番に掲げ、活発な事業活動を展開することで生産力・販売力を向上させ、産地として発展していくことを目指すとしました。



23年度に向け開かれた定期総会

部会員の生産性向上に向けて通常総会 JA和牛改良専門部会通常総会



JA 和牛改良専門部会は3月22日、22年度通常総会を宇都宮市戸祭元町の本所で開き、同部会員や関係機関の担当者25人が出席。23年度に向けた事業計画を協議しました。

同部会の鈴木和弘部会長は「部会一丸となって切磋琢磨し、より高品質な牛を生産できる部会にしていきたい」とあいさつしました。また、JA組合長表彰が行われ、去勢の部で増渕博さん、雌牛の部で大嶋清志さんがそれぞれ受賞しました。その他の受賞者は以下のとおり。△部会長表彰△去勢の部=大嶋清志△雌牛の部=若井久男 △基本登録最高得点表彰=若井久男 △特別表彰△宇都宮肉用子牛最多購買者=上野一弘



経営基盤の安定を目指す JA肥育牛部会通常総会

JA 肥育牛部会は3月24日、22年度通常総会をJA本所で開き、同部会員や関係機関の担当者28人が出席しました。

22年度事業報告では、共励会などへの出品牛について脂肪交雑基準(BMS) ナンバーの高い牛の占める比率が増加したことなどを説明。「第12回全国和牛能力改良共進会鹿児島大会」肉牛の部でウカジファームの宇梶博文さんが優等賞、「令和4年度全国肉用牛枝肉共励会」黒毛和種去勢の部で上野一弘さんが最優秀賞を受賞したことを報告しました。また、役員改選により上野一弘さんを部会長に選任しました。



J A 本所で開催した
肥育牛専門部会通常総会



知名度向上・消費拡大に向けて通常総会 宇都宮牛協会



宇都宮牛協会は3月24日、22年度通常総会をJA本所で開催し、同協会会員や関係機関の担当者24人が出席しました。

同協会の横松久夫会長は「22年度は宇都宮牛を強くアピールしPR活動の充実を目指した。今年度も知名度向上に向けて活動していく」とあいさつしました。23年度事業計画では、宇都宮牛の知名度向上、消費拡大のため、PR活動や販売指定店・推奨店の拡大に努めることを設定。また新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限が緩和されることにより需要増が見込まれるため、宇都宮商工会議所・宇都宮コンベンション協会の協力の下、計画を進めていくことを説明しました。



トマトの魅力伝えていく JAトマト専門部越冬トマトグループ中間検討会

JA トマト専門部越冬トマトグループは3月27日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場で越冬トマトグループ中間検討会を開き、部員やJA職員、関係機関の担当者ら22人が参加しました。

中間検討会ではJAの販売担当者が今年度の販売計画について説明し、今後の増量期に向けて量販店と連携して積極的に販促活動を行い、トマトの消費喚起に努めました。また、県河内農業振興事務所の担当者が急激な温度上昇によるしおれへの注意や日射に合わせたかん水の実施などを呼び掛けました。出荷目ぞろえ会では参加者が現物を見ながらトマトの形状や着色の度合いを確認し、出荷規格の統一を図りました。



目ぞろえをする部員ら



JA本所で行われた
みどり会支部長会議

みどり会支部長会議を開催(2月15日)

JA女性組織みどり会は宇都宮市戸祭元町のJA本所でみどり会支部長会議を開催し、役員や関係者21人が出席しました。



上河内中で行われたイチゴの贈呈式

JA苺専門部上河内支部が 上河内中にイチゴ贈呈(3月2日)

JA苺専門部上河内支部は、上河内地区の小学校に「とちおとめ」16箱、中学校に「とちあいか」7箱を寄贈しました。宇都宮市中里町の上河内中学校でイチゴ贈呈式を実施し、同校の卒業生で同支部の田邊倫俊支部長と神山剛副支部長が生徒にイチゴを手渡しました。



机に並ぶ
今回のメニュー4品

みどり会上河内支部が 調理ボランティア(3月27日)

JA女性組織みどり会上河内支部は、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。参加した会員は「シチューに米粉を使いました。お米の消費にもつながれば」と話しました。



ペットボトルキャップ回収運動に取り組む参加者

女性組織と青壮年部が ペットボトルキャップ回収運動(2月24日)

女性組織と青壮年部は合同でペットボトルキャップの回収運動を行いました。今回は約620kgのペットボトルキャップが集まりました。回収したペットボトルキャップは、世界の子どもたちの命を救うポリオワクチン約310本分に変わり、NPO法人に寄付されます。



「とちぎ630」に JA春菊専門部の 塩井重利さんが 出演(3月9日)

JA春菊専門部の塩井重利さんがNHK総合「とちぎ630」のコーナー「とちぎグルメ部」に出演しました。



「とちぎ630」撮影の様子



事業所に設置されたデジタルサイネージでの放映

デジタルサイネージで 「とちぎの星」CMを放映

JAIは管内の各支所・出張所、営農経済センターなどで、デジタルサイネージによる「とちぎの星」CMの放映を始めました。おにぎりにピッタリな「とちぎの星」をぜひご賞味ください。

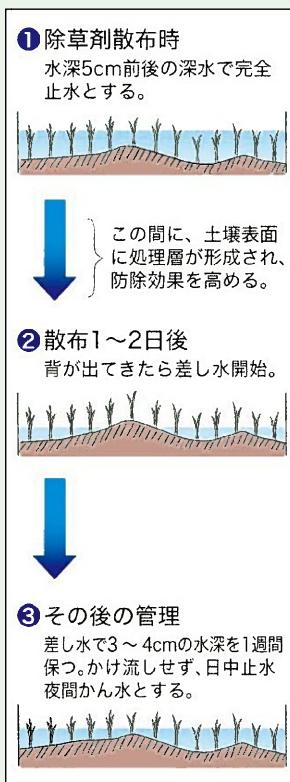
組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

水稻

水管理



図1 除草剤散布後の水管管理



①除草剤散布時
水深5cm前後の深水で完全止水とする。

この間に、土壌表面に処理層が形成され、防除効果を高める。

②散布1~2日後
背が出てきたら差し水開始。

③その後の管理
差し水で3~4cmの水深を1週間保つ。かけ流しせず、日中止水夜間かん水とする。

田植え4~5日後は、水深5cm程度のやや深めとし、活着の促進を図るとともに寒風害などから稻を守ります。特に除草剤の効果は、水管理で左右されますので注意しましょう。水もちの悪い水田は、ゆっくり差し水を行うとよいでしょう(図1)。

活着後は、浅水管理で分けたを促進させます。夜間あるいは早朝に水を入れ、日中は水を止め浅水とし、水温・地温を上げる水管理をするのが基本です。

移植後1ヶ月程度経過し、有効茎数が確保されたら、間断かん水に移行します。排水の悪い水田は、中干しの時期となります。この時期の管理は、稻作の最初のポイントとなる大切な時

病害虫防除
昨年、イネミズゾウムシやイネドロオイムシ、縞枯病の被害が目立った場合は、移植時に箱施用剤による防除をしましよう。箱施用剤を使用しない場合は、移植後ほ場をよく観察し、害虫の発生を的確に把握して防除するようにしてほしい。防除する基準については次のとおりです。薬剤については、表1を参考にしてください(薬剤を散布する場合は、使用基準を厳守してください)。

○イネミズゾウムシ
移植2週間後に畦畔沿いの任意の50株を調査して、成虫が25頭以上の場合は防除が必要です。

水管理は品質・食味向上の重要なポイントになるので、生育量・生育時期に合わせた管理を実施しましょう。

中干し期間の延長
水田からは土壤中の有機物の分解により、温室効果ガスであるメタンが発生します。中干しの期間を今までよりも延長することで有機物の分解が抑制され、メタンの発生が軽減されます。中干し期間を延長し、環境への負荷軽減に取り組んでみてはいかがでしょうか。

期ですので、ほ場を丁寧に見て回るようにしてください。

小麦

○イネドロオイムシ
ほ場当たり任意の100株を調査して成虫が10頭以上の場合、または産卵盛期に30株を調査して卵塊が25個を超える場合は防除が必要です。

ゆめかおりの追肥



パン用小麦である「ゆめかおり」の令和4年産のタンパク質含有率は、平均12.6%と低い数値でした。令和5年産では販売先が求める13.0%以上となるよう開花期頃に窒素成分で2~4kg/10ルア追肥を行いましょう。

適期収穫

高水分での刈り取りを避け、また刈り遅れにならないように注意しましょう。

○小麦

穗首が黄変して、粒が口ウ程度の硬さとなつたころが適期で、出穂後45日くらいが目安となります。降雨後や早朝の収穫を避け、穀粒水分25%以下での収穫に努めください。また早刈りは、ビール大麦の発芽勢を低下させますので避けましょう(図2)。

○二条大麦(ビール麦)

穗首の8割が90度以上曲がった時

期が適期で、出穂後40日くらいが目安となります。降雨後や早朝の収穫を避け、穀粒水分25%以下での収穫に努めください。また早刈りは、ビール大麦の発芽勢を低下させますので避けましょう(図2)。

刈り分けの実施

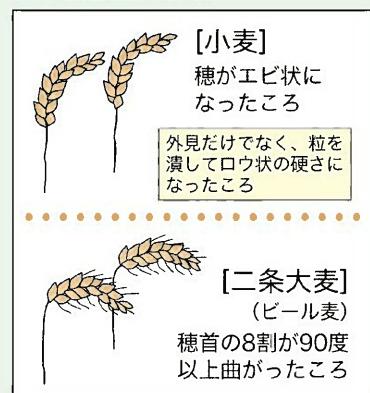
収穫した麦を長時間放置しておくと、ムレ麦となり、品質・発芽勢が低下します。収穫後は、速やかに共同乾燥施設へ搬入してください。

※栽培履歴・GAPを必ず提出してください。

表1 移植初期の主な病害虫防除剤

病害虫名	薬剤名	散布量 (10a)
イネミズゾウムシ	トレボン粒剤 なげこみトレボン	2~3kg 300ml(50ml×6本)
イネドロオイムシ	1. 幼虫発生初期 なげこみトレボン スタークル粒剤	300ml(50ml×6本) 3kg
	2. 幼虫による加害が始まっている場合 スマチオン乳剤 トレボンEW	1,000倍液を60~150ℓ 1,000倍液を60~150ℓ

図2 収穫適期の目安



みどり会清原支部

みどり会清原支部は、新型コロナウイルス感染拡大が懸念された影響で活動を控えてまいりました。2月になり感染者数も日に日に下火気味になり、3月10日には対面での総会を無事開催することができました。

32人の会員が出席し、今後の活動などについて話し合うことができ、研修旅行も行事の一つとして復活することになりました。また、直接会員の方々の声を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

コロナ禍前のように支部活動ができると楽しんでおります。



総会の様子



宇都宮農業協同組合女性組織

みどり会 なの花会 あじさい会



会員募集中!!



<みどり会&なの花会>ペットボトルキャップ回収運動

女性であれば、どなたでも加入できます！

年会費 1,000円

健康、手芸等の各種教室や旅行、またその他地域貢献活動等、趣味や地域を通して自分らしく輝きながら活動しませんか。



KAGOME 那須工場見学会
平成30年 6月13日(水)

<なの花会>グループ合同事業



詳しくはお近くのJA窓口、またはお電話にて！

JAうつのみや 経済部 生活福祉課

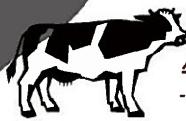
TEL:028-621-8798

(受付時間) 8:30~17:00 (定休日) 土・日・祝日



<あじさい会>研修会

宇都宮農業協同組合女性組織は、地域貢献活動を通して『SDGs』活動に取り組んでいます。

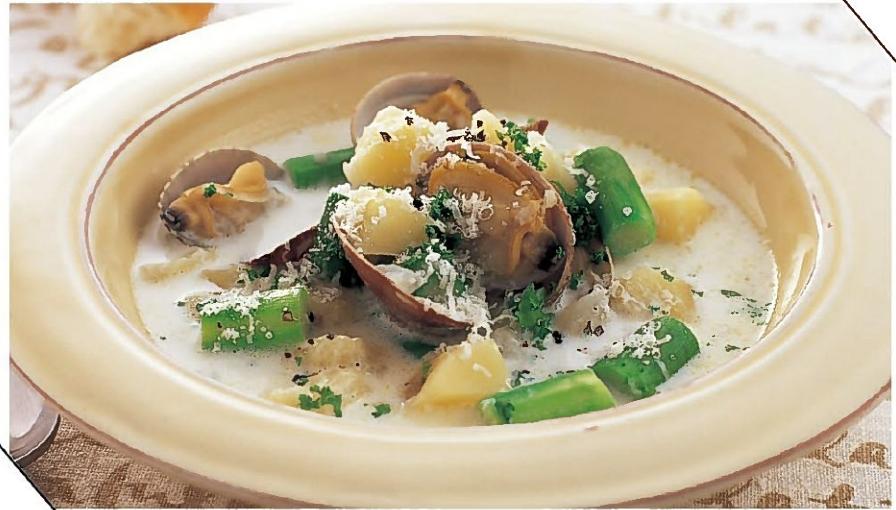


牛乳をもっと食卓に

おいしいミルクレシピ

アサリのチャウダー

アスパラの季節に楽しみたいスープ



材料(4人分)

- | | |
|----------------|--------|
| タマネギ | 1/2個 |
| ジャガイモ | 2個 |
| アサリ(殻付き) | 300g |
| グリーンアスパラガス | 1束 |
| コンソメスープのもと(顆粒) | 小さじ1/2 |
| 牛乳 | 400ml |
| パセリ | 少々 |
| オリーブ油 | 大さじ1 |
| 塩・こしょう | 各少々 |

作り方

- ①タマネギは粗みじん切りにする。ジャガイモは1cm角に切ってさっとすすぐ。アサリは海水程度の塩水の中で殻と殻をこすり合わせて洗う。アスパラガスは根元の堅い皮をむき、3cmの長さに切って耐熱性皿に載せてラップをし、電子レンジに1分かける。パセリはみじん切りにしておく。
- ②鍋にオリーブ油を熱して、タマネギを透き通るまで炒め、ジャガイモを加えて炒め合わせる。湯400ml(材料外)を加えて煮立たせ、中火にしてコンソメスープのもとと塩小さじ1と1/2(分量外)を加え、10分煮る。
- ③②にアサリを入れ、ふたをして煮る。アサリの口が開いたら温めた牛乳を加え、①のアスパラガスも入れて温める。
- ④塩・こしょうで味を調えて皿に盛り、①のパセリを振る。

今月の直売所情報

おいしい新茶は、JAうつのみや直売所で

JAの新茶はさわやかな香りでまろやかな
うま味が評判です。種類も豊富に取りそろえ
ています。

JAグリーンインターパークでは5/21(日)に
お茶の試飲とサンプル配布を行います。
※先着順で無くなり次第終了

対象店舗: JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち、南河内グリーンセンター



お米の特売日

JAグリーン
インターパーク直売所

毎月第3日曜日(5/21)

JAうつのみや お薦めのみやおとめ
(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!



JAグリーン
かみかわち直売所

毎月8の付く日(5/8、18、28)

特売
南河内
グリーンセンター
第3金土日曜は
特売デー

南河内グリーンセンター
**生産者さん
募集中!!**

南河内グリーンセンター
北側ガラス温室テナントも同時募集中
詳しくは上三川宮農経済センター(南河内)
TEL: 0285-48-2215
営農課 直売所担当者まで

城山支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



豊富な知識と経験で、お客様のライフプランを全力でサポートします。

4月からの城山支所外務職員をご紹介させていただきます。

当支所は、金融総合涉外2人、ライフアドバイザー（共済外務）3人の5人体制で、日々の外務活動を行っております。貯金・共済・融資・投資信託・年金・相続など、どんなことでもお気軽にご相談・お申し出ください。お客様のライフプランを実現させるために、全力でサポートします！

歩みかたは違っても、歩む目的はひとつ



各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	上河内支所	028-674-3333
宝木出張所 028-622-6111	河内支所	028-673-3135
平石支所 028-661-4311	南河内支所	0285-48-2211
南部支所 028-656-1020	上三川支所	0285-55-1510
城山支所 028-652-0711	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
北部支所 028-665-0003	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所 028-667-0151	上三川営農経済センター	0285-55-1511
姿川支所 028-658-6881	住宅ローンセンター	028-622-7100

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル 0120-08-2065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258-931

■ JA葬祭(24時間受付)

アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先 028-633-0085